



フランス ボルドー第3大学

せっかくフランス語を勉強するのだから、フランスに一度は行ってみたいと思っていました。岩手大学には交換留学の制度があることを知り、これなら負担も少なく留学ができる！と思い、留学を決めました。



学校や寮の申請手続きなどは、交換留学なのでそんなに大変ではありません。もちろん先生方も手伝ってくださるので手続きに関しては心配無用です！

全体的にかかる費用は一年で**150万円**ほどです。(航空代、寮費、生活費、娯楽費など) 寮費は一ヶ月約200€(電気・水道代込)で、手続きをすればフランスの住居補助金を約100€受け取ることができます。生活費は私の場合、毎月10万円を送金してもらっていました。

ボルドー第3大学に付属のDEFLEという語学学校で、様々な国の人と一緒にフランス語を勉強します。レベル別にクラスを分けられるので、難しすぎて授業についていけない！ということにはなりません。

クラスメイトはもちろん、たくさんの友達ができます！日本語学科の学生とは交流が多く、たくさんパーティをしました。日本は飲み会といったら居酒屋ですが、フランスには居酒屋がありません。外でピクニックのように行うこともあれば、バーや友達の家で行うこともありました。



バカンスがたくさんあり、旅行もたくさんしました。フランス国内はもちろん、ドイツ、ベルギー、イギリス、イタリア、スペイン、ポルトガルなど様々な国へ行きました。何もかもが日本とは異なっていて、驚くことばかりでした。



留学をとおして学んだことは「今まで当たり前と思っていたことが当たり前ではない」ということです。まずは、私はフランスでの初めての一人暮らしで家族の大切さを知りました。生まれてから家族から離れて暮らしたことがなかったので、家に帰れば誰かがいることが当たり前でした。それが当たり前でないということに、留学をして初めて気がつきました。

そして、日本では普通のことでも国が変われば全く異なるということを実感しました。例えば、店の開店時間や店員の接客態度、生活リズムや食生活。そのような異文化を肌で感じる事ができたことが留学での成果です。

